

# 第5回 IPUチャレンジ 競技会要項

## - The 5th IPU CHALLENGE -

主 催：環太平洋大学陸上競技部

競技会コード：【21670905】 競技場コード：【334040】

1. 期 日：2021年5月24日（土） 25（日） 競技開始9:00
2. 会 場：環太平洋大学陸上競技場 岡山市東区瀬戸町観音寺721
3. 競技種目：実施種目（一般、大学）  
男子 1500m 棒高跳 砲丸投げ（一般/7.260kg, 大学/6.000kg） やり投げ（一般/800g）  
女子 800m 1500m 棒高跳 砲丸投（一般/4.000kg） やり投げ（一般/600g）
4. 参加資格：2021年度日本陸上競技連盟登記・登録者であること。
5. 出場制限：新型コロナウイルス感染防止のため、出場者数を制限させていただく可能性があることをご了承ください。
6. 競技規則：2021年度日本陸上競技連盟規則及び本大会要項に基づいて行う。
7. 招 集：トラック種目は競技開始15分前に競技開始スタート地点で招集を行う。  
：フィールド種目は競技開始30分前に行い20分前完了とし、各ピットにて招集を行う。
8. 競技方法：以下の通りで実施します。
  - (1) フィールド競技はトップ8のみ4～6回目の試技を実施する。
  - (2) フィールド競技の計測方法は毎回記録を計測する。4投目以降も同様とする
9. 参加申込：(1) アスリートランキング (<https://www.athleteranking.com/>) より申込を行う。
  - (2) 参加料金 1種目1000円 ※当日受付で支払い
  - (3) 申込期限 7月18日（日） 24:00まで（期限後の申込は受け付けない）
  - (4) 本競技会で使用するナンバーカードは、登録時に与えられた登録番号とし、各自で用意すること（本年度のナンバーカードが出来るまでは、昨年度のナンバーカードを使用す）。

### 10. その他事項

①競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。ただし、2021年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

②今回はコロナ対策として、出場者は受付で検温を実施します。37.2度以上の選手は出場をお断りさせていただきます。その際の参加料は徴収しません。また競技場入り口に備えてあるアルコールで、手指等除菌して入場をお願いします。競技中やウォーミングアップ中以外はマスクの着用をお願いします。更衣室はご利用になれません。発熱がなくても体調が悪い場合は出場を断念していただきますようよろしくお願いいたします。競技以外の場面においては三蜜を避けるようにご協力をお願いします。

③日本学連より競技会を行う上で、開催前後2週間の体調管理症状チェックシートの提出を義務付けられています。出場される方はアスリートランキングの本競技会申込ページよりチェックシートをダウンロードの上、大会2週間前の体調を記入し、受付で提出して、また大会2週間後には大会後チェックシートを本競

技部まで郵送又はメールで送信をお願いします。チェックシートがありませんと参加が認められないので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】 環太平洋大学陸上競技部 競技会担当

e-mail : [jpu2020kyogikai@gmail.com](mailto:jpu2020kyogikai@gmail.com)

# 競技者注意事項

1. 本競技会は2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟規則ならびに本競技会規定によって行う。

## 2. 競技者の招集について

- (1) 競技者の招集は現地招集とする（現地招集場所についてはプログラムを参照）。
- (2) 招集時間は次の通りとする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始30分前	競技開始20分前

※棒高跳の招集完了時間は、場内での練習時間を確保するために、競技開始1時間前とする。

### (3) 招集の手順

- ①招集開始時間に競技者系の点呼を受ける。
- ②代理人による最終点呼は認めない。2種目同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の招集時に競技者係に申し出ること。
- ③招集時間に遅れた競技者は、当該種目に出場できない。

## 3. 競技について

- (1) トラック競技の計時は手動とする。
- (2) フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- (3) 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技はマーカーを1つだけ使用することができる。
- (4) 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
- (5) 投擲競技の計測は1～3本目で最も良い記録を計測し、上位8名を選出する。以後4～6本目を実施。
- (6) 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）スパイクピンの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は、11本以内とする。
- (7) 競技を棄権するものは本部に「棄権届」を提出、またはその旨を報告すること。
- (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は各競技会要項に記載してある通り実施する。

## 4. 応急処置・緊急車両の手配について

- (1) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。また治療費は本人負担とする。ただし、2021年度公益財団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているのでこの保険が適用される場合がある。
- (2) 救急車などの緊急車両を手配する事態が起こった場合、一刻を争う事態でない限り、競技会本部の許可なく手配をしないこと。
- (3) 更衣室はビクトリー・クラブハウス内を利用できる。更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。

- (4) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は一切負わない。
- (5) 届けられた遺失物については本部で保管する。保管期間は競技会終了までとする。
- (6) 「記録証」を希望する競技者は、競技会本部に300円を添えて申し込むこと。
- (7) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり・旗等の掲出、展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」にもとづく。

作成日：2021/2/1  
環太平洋大学陸上競技部